



幸樹

こう じゅ

第96号

2023年3月1日



ホームページ



職員募集

発行・一般社団法人幸樹会「幸樹」編集委員会

……………幸樹会事業所……………

からたち薬局・介護ショップからたち ☎047-710-2785
 あんず訪問看護ステーション ☎047-701-5559
 あんず居宅介護支援事業所 ☎047-701-5558
 ケアステーションゆず ☎047-701-5506
 看護小規模多機能型居宅介護さんしょう ☎047-710-0331
 幸樹会本部 ☎047-701-7550

〒270-2254 千葉県松戸市河原塚 411-1 幸樹会館



『朝靄』

絵・高橋 聖大

中江千秋さんにお聞きしました。

現在64歳。3年前に脳出血で倒れ、今までの生活から一変しましたが、今が幸せと語ります。

そんな中江千秋さんにお聞きしました。

聞き手：あんず居宅支援事業所 介護支援専門員
田中和世

先日、大学時代のOB会があると楽しみにされていましたが、出席出来ず、残念だったとお話を聞かせてくださいました。生まれは板橋区。中学、高校、大学とテニスに興味でスポーツを楽しんできたそうです。

同じ会社で同期入社のおさんと出会い、37年前結婚を機に、通勤に便利な松戸に引っ越しをされて来られました。

令和元年11月に脳出血にて自宅で倒れられ、奥さんが救急車を要請されたとお聞きしています。ご本人は「記憶ないな」と話されます。気が付いた時には、病院のベッドの中だったそうです。入院生活が続き、リハビリ病院への転院となり、言語訓練などリハビリに励んで来られました。

もともと一人で散歩される事があったのですが、自宅へ退院されたばかりの頃は奥さんと2人で散歩に出かけられる事が楽しかったです。

現在はデイケア、デイサービスの利用をし、就労継続支援B型で請負作業を行う為、電車を利用し出掛けられます。請負作業で頑張った資金で古着屋さんの洋服を購入する楽しみを持たれています。

自宅で映画を見て過ごしたり、時にはデイサービスの宿題を前日の夜中まで行う事もあるそうです。

ご自宅ではお風呂の準備をする事が自分の役割だと教えてくださいました。

「今が幸せ。笑えているから」と明るく笑って話をしてくださった中江さん。

インタビュー中、横に居る奥さんに「ね？」と何度も話を振り

奥さんは笑いながら「私に振らないでよ」と答えられ、楽しい雰囲気が続いていました。

デイケアで、奥さんにブレスレットやビーズの手作り作品を作られました。



精緻にガラスビーズやパール風ビーズを貼り付けて作られたビーズ画・左手にブレスレット。どちらも素敵です。病に倒れても、自分の役割や楽しみを見つけ出し、幸せに笑っている中江さんに勇気と元気もらったインタビューでした。



2月地域交流カフェ

おもちを食べよう



出席者はさんしょうのご利用者さん11人と介護スタッフ、担当はあんず訪問看護ステーションでした。お餅は普通のお餅と、

喉に詰まりにくい芋餅の2種類にしました。



ご利用者さんの嚥下状態によって普通のお餅、芋餅を選びました。試作では、芋餅はジャガイモの味が強く、ハッシュドポテトの様でしたが、試作を重ねてもちもち感を残しつつもねばつかない芋餅を作りました。芋餅は、ジャガイモをふかし同量の片栗粉を入れ団子状にしたものを利用者さん、介護スタッフ、看護師みんなで手のひらで丸めました。

いまが幸せ。笑えているから

300 個以上皆で、ワイワイと楽しく出来ました。はじめはためらっていた方も、周りの雰囲気、団子を丸める事に参加してくれました。食事の前には、誤嚥しないようにしっかり準備体操、口腔体操、耳下腺マッサージを行い、食事前も水分で口腔内をしっかりと潤してつまらないようにしました。万一の事も考え吸引器の準備も行い、最善の準備をしました。

(もちろん緊急の事態は起きませんでした。)

昼食は、お雑煮、お汁粉で楽しみました。デザートに、粒あん、ずんだ餡、栗餡、大根おろしを用意しました。大根おろしに人気集中しました。お餅で詰まる事もなく安全に食事が出来ました。芋餅は、初めて食べたと言う人も多く、会話も盛り上がり盛況に終える事が出来ました。

あんず訪問看護ステーション 大橋麻子

理学療法士のココロ

あんず訪問看護ステーション
理学療法士 御簾納あゆみ

私は昨年夏よりご縁があり松戸市、そして幸樹会に就職しました。松戸市には道路に樹が多く植えられており、夏は緑、秋は落ち葉、冬は春に向けた枝切と梅の花。街並みが大好きです！今は桜の開花を心待ちに過ごしています。まだ半年ですが相手を思いやり、温かな言葉を掛けて下さる地域の多くの方と出逢い心はいつもポカポカ、春のようです。

先日、訪問リュックを背負ってエレベーターに乗る私に『大きなバック背負ってこれから山に登るの？気をつけてね。』と笑顔で声を掛けてくれる地域の方。このような何気ない会話がとても好きです。声を掛けてくださりありがとうございます！

地域の方とのなにげない会話が励みに

私は病院、デイサービス、老人ホームと様々な場所で勤めて参りましたが圧倒的に多く聞かれる希望は『家に帰りたい。』でした。そして、大小さまざまですが家に帰ると出来る様になりたい事、やってみたい事がたくさん出てきます。リハビリでは身体機能向上や動作訓練等を行い目標に向かって一緒に歩み、時には立ち止まってしまう時もあります。その時はゆっくりお話をしてリフレッシュしてまた歩み出す。この様に寄り添いながら目標達成できる人になれるよう、人として療法士としてこれからも勉強していきたいと思えます。

また、私はこれまでの経験から、幸樹会の理念でもある『住み慣れた家や地域で、安心して最期までその人らしく生活する』ということをととても大切にしてきました。ですが、これは一人では叶えられることではありません。ご本人やご家族の気持ちや考えを知り、私たち

幸樹会の各専門職の密な連携と行動により豊かな人生を送り続けるための支援をさせて頂けると考えています。これからも、訪問看護、看護小規模多機能があり幸樹会だからこそ行える支援を目指して行きたいと思えます。

若輩者ですが安心して任せて頂き、共に歩めるようこれからも努力して参ります。よろしくお願い致します。



デンマーク便り...④

ラスムッセン 京子

デンマークでは、過半数の議席を占めている連立政府が祭日を一日廃止しようとしていて、物議を醸しています。“祈りの日”というのはデンマーク独自の祭日で復活祭から数えて第四金曜日に当たります。政府による提案で“祈りの日”の廃止に関する大きな議論が巻き起こっています。“祈りの日”の廃止は、来たるべき国防妥協案の財源になるというのが、現連立政府の立場であることに変わりはない、これは政府の3党指導者によると、統一野党が火曜日に、もし政府が大祈祷日の廃止を交渉する要求を維持するならば、参加を拒否すると表したためです。 mette・フレデリクセン首相は、政府は「財源に関する他の良いアイデアにはいつでも応じる」と述べています。しかし、野党が防衛費調達の妥協案としてより良い案を出したとしても、政府の立場は休日を廃止することには変わりはない。強行採決されるだろうという、連立政権が過半数を獲得しているから、そのような横暴が通るといことです。

今、国会の各政党は代替財源を議論したいと言っており、私たちはそれを楽しみにしていますと首相は言う。

ヤコブ・エルレマン・イェンセン（V）国防大臣は金曜日に“祈りの日”の廃止に賛成するかどうか、1週間以内に回答するよう通告したと述べました、野党が賛成票を投じない場合、各政党は新たな防衛妥協案の交渉に招かれることはない。国防大臣はその一方で、彼は過半数を集められるような休日の代替案が一つも提示されていないという。もし野党が国防費の代替案について「現実的な」提案をすれば、もちろん耳を傾けるつもりだとエルレマンは言いい横暴だとは思わないと発言しています。

首相は TV 2 のインタビューに対して、連立政府だけで防衛調停を行うことは「望んでいない」と答えています。

“ではそんなことは望んでいないが、その覚悟はあるのか？”と尋ねられると、同時に、首相は、“祈りの日”の廃止を問う国民投票を求める労働組合運動の要求を拒否しています。“労働組合運動からは、社会的パートナーシップを踏みにじったとして、首相と政府に対する批判が相次いだ後、「どれほど相手を苦しめていると思えますか？」ときかれると、首相は「私たちは踏みにじってはいないと思えます。」そして、「私は労働組合運動を非

常に、非常に尊敬しています。それは誰もが知っています。私自身もその中にいたことがありますから。」と話します。しかし、デンマークの政策全般の責任はここ国会にあると言及しています。首相はまた、デンマーク人が1日余分に働かなければならないことを問題視していないと、火曜日には繰り返しています。さてどういう決着になるでしょう。過半数で議決を押し通すのでしょうか？私個人としては、祭日が減るのは受け入れがたく思っています。

看多機さんしょうの見学研修の感想

千葉健愛会あおぞら診療所で在宅医療研修をされている研修医の方が、さんしょうを見学研修をされ、感想をいただきましたので、ご紹介いたします。

尊厳が守られ、その人らしい生活を送れるよう

あおぞら診療所研修医

虎の門病院研修医二年 西條朝貴

虎の門病院研修医二年の西條朝貴(さいじょう あさき)です。本日はお忙しい中、貴施設での研修をさせて頂き大変ありがとうございました。今月はあおぞら診療所でも訪問診療を勉強させて頂いておりますが、限られた時間内での診療では患者さまやご家族との問診と診察に特化せざるを得ないことが多いです。しかし、看護では患者さんにより近い距離感で、例えば創部の看護ケアの一環としての入浴であったり、他にも食事やリハビリ的な側面をフォローするなど、人として欠かすことのできない日常的な活動に密に関わり、本人だけでなくご家族を含めた方々の生活を支えていることを実感しました。お迎えなどは介護士の方々がメインで動いてくださっており(お迎えの流れをわかっておらず、あまりお手伝い出来ずにすみませんでした)、車椅子の持ち運びや移乗など、身体に負担のかかる体力仕事ばかりだと改めて理解しました。介護職離れなど世間ではよく聞くトピックですが、本当に大変で、でも現代に決して欠かせない役割で多くの方々の生活を支えていらっしゃるご職業で頭の下がる思いです。また、看護小規模多機能型居宅介護といった施設について今月の地域実習をするまで、グループホームなどといった他の施設との違いを勉強不足であまり認識できておりませんでした。あおぞらでの研修を通して多少の理解はしていたつもりでしたが、実際に本日見学させて頂いてより一層イメージが明確になりました。訪問看護は勿論ですが、通いや泊まりといったシステムが、患者さん本人のみならずその介護者となっているご家族の方々に対しても心身共に休まる期間としても重要なのだらうと思いました。一人一人の尊厳が守られ、その人らしい人生を送るお手伝いを

するといった理念も超高齢社会で欠かせないポリシーだと日々訪問診療させて頂く度にもつくづく思います。医師としてまだまだ未熟ですが、少しでも自分の関わった患者さんがそのような生活を送るお手伝いをできたという思いで精進していこうと思います。最後になりましたが施設の皆さまに終日温かくして頂いて大変感謝しております。どうぞ宜しくお伝えください。

平和への祈りを込めて



3月10日の東京大空襲を忘れない・戦争を二度と起こさないという気持ちで、利用者さん・スタッフが祈りを込めて折った千羽鶴を「東京大空襲・戦災資料センター」に送りました。事務局より「平和を願う千羽鶴、受け取りました。ありがとうございました。

早速かけさせていただきましたので写真を送ります」と連絡と写真が届きました。平和への思いをこれからも折り鶴に込めて、これからも折り鶴活動を続けたいと思います。

あなたがおしえてくれたことIV

「あなたが教えてくれたことIV」を発行しました。2019年から取り組み始めた幸樹会のケア・看取りのものがたりは、今年で4冊目になりました。「教えられたこと」が増え、私たちのケアにも奥行きが出ているように思います。皆さんと共有したい物語がたくさんあります。お読みになりたい方は、幸樹会本部までご連絡ください。無料で差し上げます。代表理事 中野三代子

今月の屋上太陽光発電量は、

779KWh

幸樹会館電力使用量 6510KWh 自給率 11.96%



職員募集！非営利・働きがいある職場

看護師・介護職員

●無資格の方もご相談を。資格取得支援制度あり
問い合わせ：本部中野まで、☎047-701-7550

八柱学習会

2月17日は13名が出席

▼次回学習会予定(「定例日：毎月第3金曜日」)

3月17日(金) 18:00～、あつまーれ幸樹

「認知症介護実践者研修の報告」

介護支援専門員 荒木由起子

介護福祉士 加藤義幸

《参加自由》